

第三国集団研修評価調査団報告書

—タイ，電気通信—

1988年6月

国際協力事業団
研修事業部

研 管
J R
88-56

LIBRARY

47
18

第三国集団研修評価調査団報告書

—タイ，電気通信—

19596

JICA LIBRARY



1071522[5]

1988年6月

国際協力事業団
研修事業部

国際協力事業団

18596

序 文

この報告書は、我が国がタイ王国で実施している第三国研修のうち電気通信分野における研修コースの運営の実態把握と評価を目的として1988年3月28日から4月2日までの6日間、タイに派遣した研修評価調査団の調査報告書である。

本報告書により、当該分野における各国の電気通信分野の実情、研修員の活動状況、研修コースの改善すべき点及び当該研修コースに係る要望事項等について関係各位の一層の御理解をいただき、今後の研修コース実施の改善の一助になれば幸いである。

なお、本件の実施のために御協力を賜った外務省、郵政省並びに現地において数々のご指導と御協力を賜った在外公館及び関係機関の皆様には感謝の意を表します。

1988年6月

国際協力事業団

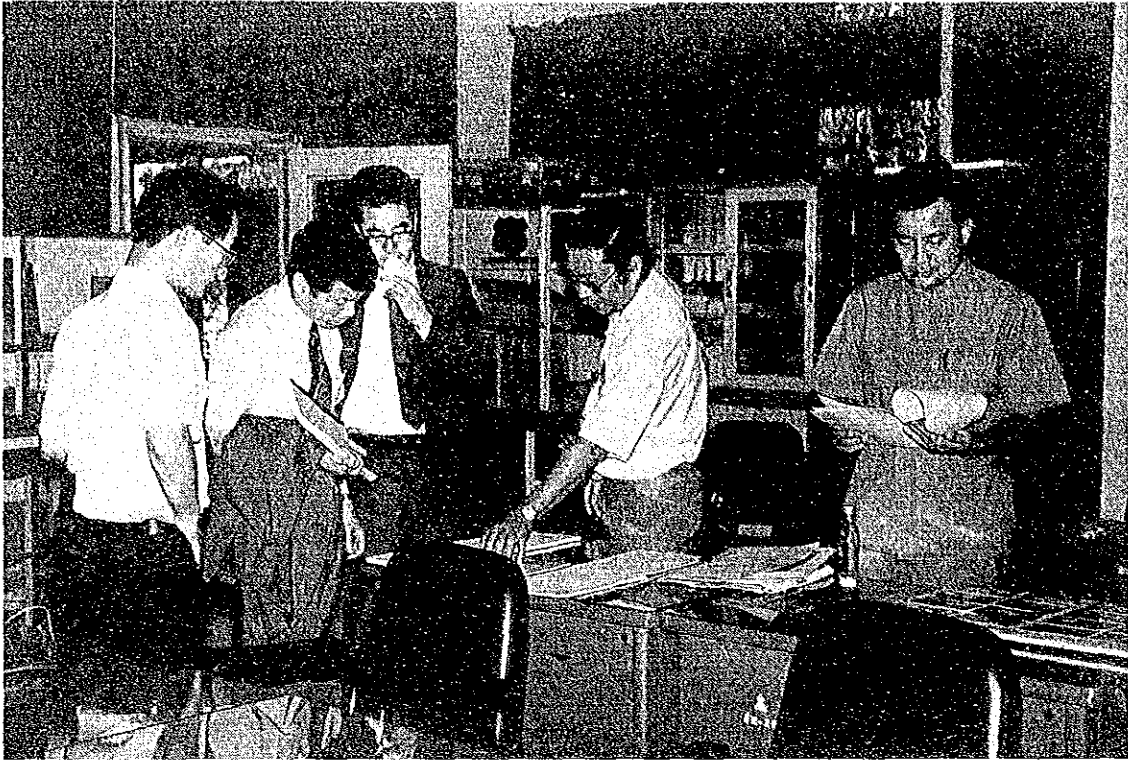
研修事業部長 岡部和夫



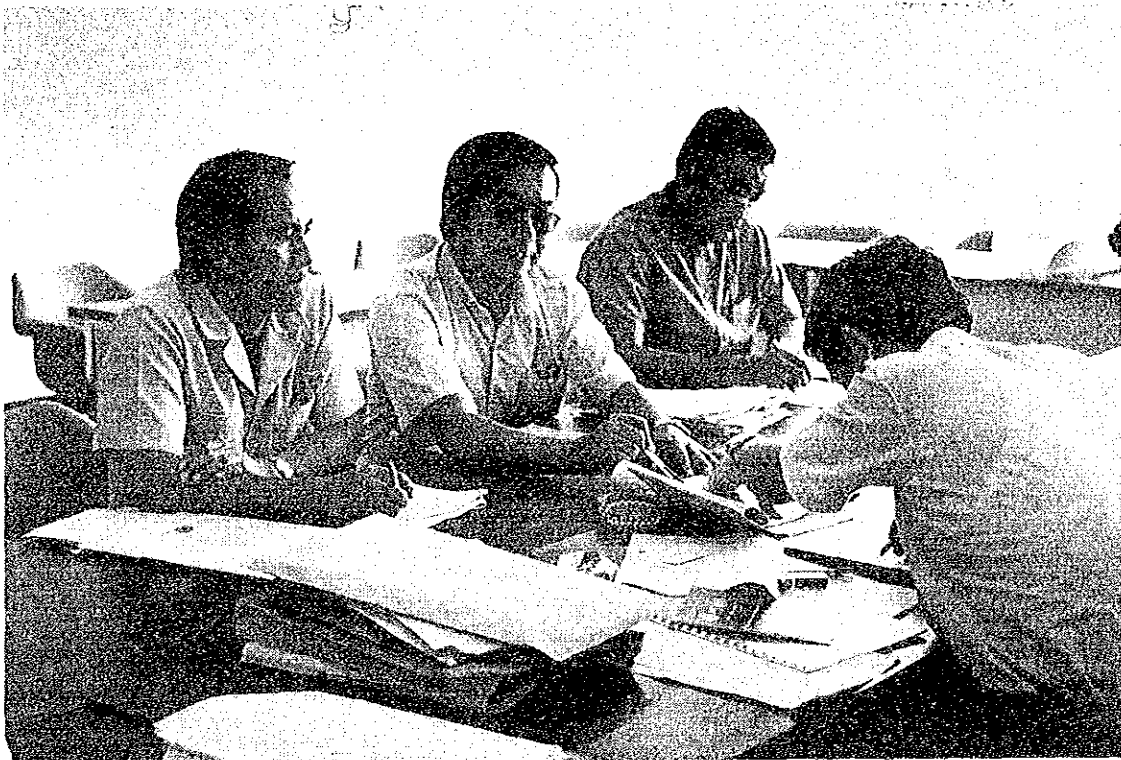
KMITLにてタイ側スタッフと評価調査団



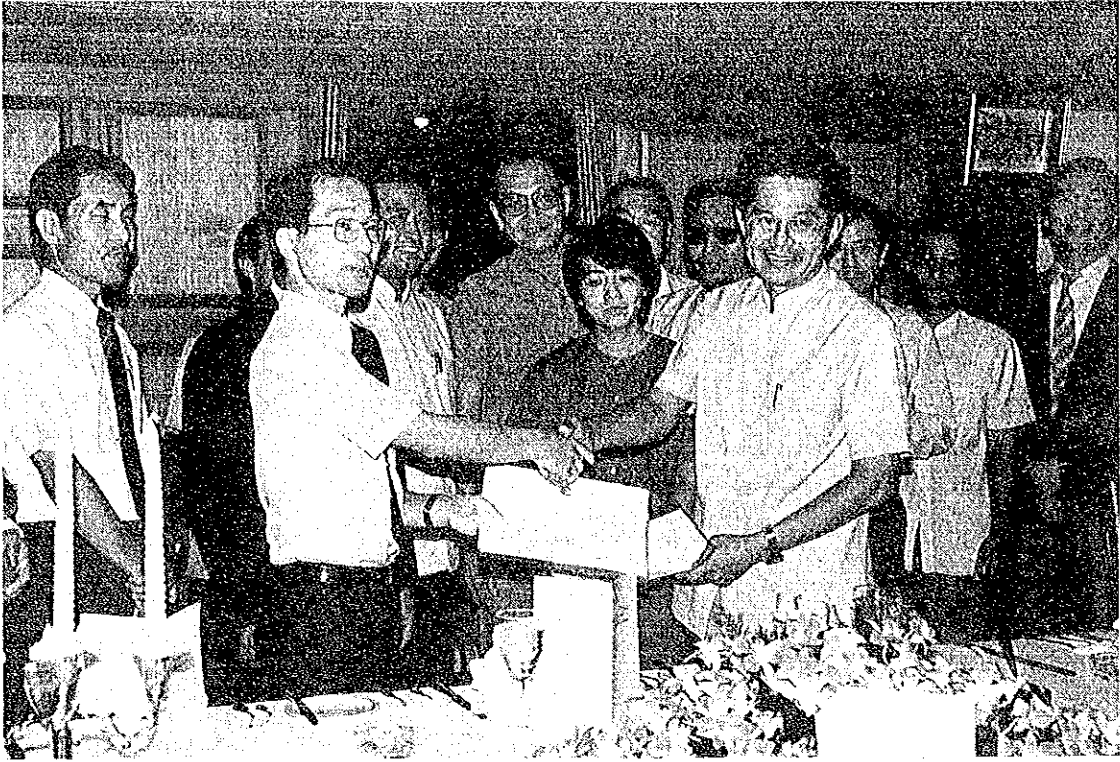
KMITL 工学部管理棟



第三国研修を実施する教室



MINUTES OF MEETING 作成打合せ



MINUTES OF MEETINGのサインを了し
握手するDr. Kosolと藤野団長

目 次

1. 研修評価調査団の派遣	1
1.1 派遣の経緯と目的	1
1.2 調査団の構成	1
1.3 調査日程	1
1.4 主要面談者	2
2. 研修概要と実績	3
2.1 経緯	3
2.2 研修計画及び実績	3
2.3 研修実施機関	4
2.4 研修参加国及び人数	4
2.5 日本の協力実績	5
3. 評価活動の実績	7
3.1 各種評価の結果とその内容	7
3.2 計画変更等へのフィードバックとその内容	7
4. 評価	8
4.1 評価の実施目的	8
4.2 評価方法	8
4.3 研修効果（目標達成度）	8
4.4 研修計画	9
4.5 研修実施機関	10
5. 総合評価	12
附属資料	
1. MINUTES OF MEETINGS	17
2. 帰国研修員に送付したクエッションネア（回答例）	31
3. 1987年度GENERAL INFORMATION	36
4. 1987年度コース修了時のアンケート調査結果	40

1. 研修評価調査団の派遣

1.1 派遣の経緯と目的

電気通信は社会・経済開発の上で必須のインフラストラクチャーのひとつであり、開発途上国でもその整備・拡充が進んでいる。

我が国は、1960年からモンクット王工科大学(KING MONGKUT'S INSTITUTE OF TECHNOLOGY - KMIT) - (当時はノンタブリ電気通信訓練センター)において、プロジェクト協力を開始し、その後無償資金協力で建物を建設した。これら協力の成果を一層活用すべく、周辺諸国に対し、1977年から第三国研修をタイと共同でKMITにて実施している。

本件調査団は、本年度で11回目を迎える同第三国研修の過去の協力実績を評価するとともに今後の協力継続につきタイ側と協議し、これまでR/Dなしに実施されてきた本件第三国研修R/Dの原案につきタイ側と原則同意することを目的に派遣された。

1.2 調査団の構成

担 当	氏 名	所 属 先 お よ び 職 位
団長 総 括	藤 野 利 行	国際協力事業団研修事業部研修第二課長
団員 計画評価	麦 島 正 靖	郵政省通信政策局国際協力課国際機関係長
団員 研修評価	飯 野 晴 章	国際電信電話株式会社国際部国際協力室調査役
団員 研修評価	山 内 常 幸	日本電信電話株式会社国際部開発協力部門企画担当課長
団員 運営評価	谷 田 和 之	国際協力事業団研修事業部研修第三課課長代理

1.3 調査日程

日 順	月 日 曜	行 程	業 務
1	3.28 月	東京ーバンコック	ホテルにて日程等打合せ(JICAタイ事務所原所員)
2	3.29 火	午 前	JICA事務所にて斉藤所長及び原所員との打合せ
		午 後	Department of Technical and Economic Cooperation (DTEC) 訪問 Mr. タウン (Director, External Division I) Miss. チャンタナ (Chief, Thai-Aid Sub-Division) Mrs. プラニー (Stuff, Thai-Aid Sub-Division)

2. 研修概要と実績

2.1 経緯

タイにおける第三国研修（電気通信技術）が実施されているモンクット王工科大学ラカバン・キャンパス（KMITL）は、1960年に、我が国のプロジェクト・センター協力によりノンタブリ電気通信訓練センターとして発足し、その後、無償資金協力により建物が建設された。これらの協力の成果を一層活用すべく、1977年度より第三国研修（電気通信技術）を実施し、タイ及びタイの周辺諸国からの参加研修員に講義及び実習等を通じて電気通信分野において必要な知識・技術等を習得させることを目的とする総合的な研修を行っており、1987年度に11回目の第三国研修を実施した。

2.2 研修計画及び実績

(1) 期間・時期

1987年度で11回を実施し、最近の3カ年の実施時期及び期間は以下のとおりである。

第9回：86年1月15日～86年3月19日（64日間）

第10回：87年1月14日～87年3月11日（57日）

第11回：88年1月11日～88年3月7日（57日）

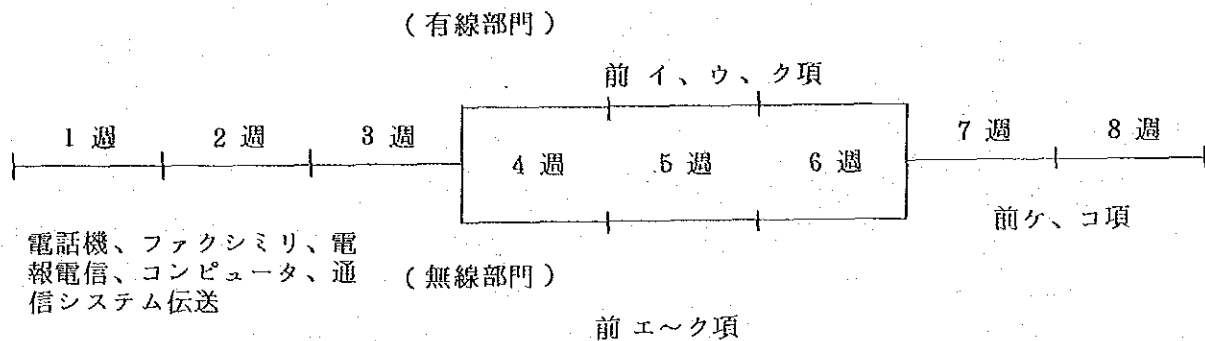
(2) カリキュラム等

① 研修項目

- ア. 電気通信設備・機器の一般的知識
- イ. デジタル交換設備（PABX、パケット交換を含む）
- ウ. PCM、光ファイバー通信
- エ. マイクロ無線技術・通信
- オ. 衛星通信
- カ. 移動無線通信
- キ. TV技術
- ク. 実習・研究
- ケ. 日本人講師による特別講義
- コ. タイ国内の通信設備の見学

② 研修日程

本研修は研修員の専門分野を考慮し、合同研修と専門別二班に別れて行う研修とから成っている。1987年度の例は次のとおり。



電話機、ファクシミリ、電
報電信、コンピュータ、通
信システム伝送

2.3 研修実施機関

本研修は経緯で述べたようにKM I T Lの通信設備をより一層活用するため実施しており、講師の半数は同校のスタッフが当っており他はタイ国内の電気通信運営体であるタイ通信公社(C A T)、タイ電話公社(T O T)等のスタッフであり、理論面、実務面で連携を取り行っている。

また、運営についてもタイ国経済・技術協力局(D T E C)が募集要項の作成から入国手続等一切を行い研修員が研修に集中できる環境作りを行い、第三国研修を自主的に運営している。

2.4 研修参加国及び人数

国名	年 度											合 計
	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	
アフガニスタン	2	2										4
バングラデシュ		1		4				1		1	1	8
ブ ー タ ン				1		1	1			2		5
ビ ル マ								3	1			4
ブ ル ネ イ					1	1	1	2	2	1		8
中 国				2	2	3		2			2	11
インドネシア	2	2	1	2		3			4	2	1	17
韓 国					1	1		1			2	5
マレーシア	2					2		1	3	2	1	11
モルディブ			1					1	1	1	1	5
ネパール	1	1	2	2			2		1	1	1	11
パキスタン					1	1	2	1	1			6
フィリピン	3	2	2	2	1	1		2	1	1	1	16
シンガポール	2		1	1	1						1	6

国名	年 度											合 計
	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	
スリ・ランカ	2	2	1	3		1	2	1	2	2	2	18
イ ラ ン	2		1		1		2	2				8
フ ィ ジ ー						1		1		1	1	4
パプアニューギニア					2		2					4
ソロモン諸島											2	2
バヌアツ										2		2
西・サモア											2	2
タ イ	0	0	0	2	3	3	4	4	4	5	4	29
合 計	16	10	9	19	13	18	16	22	20	21	22	186

2.5 日本の協力実績

(1) 経 緯

周辺国からの研修員の渡航費、滞在費は日本、タイ国でそれぞれ半額負担し、その他経費は毎年、両国協議で決めている。

(2) 専門家派遣

回数	年 度	人 員	講 義 内 容
1	52年	—	—
2	53	1	ファクシミリ
3	54	2	無線技術（航海、レーダ）
4	55	3	光ファイバー線路・伝送技術
5	56	3	デジタル伝送、交換、マイクロ通信
6	57	2	光ファイバー通信、マイクロ通信
7	58	2	デジタル交換、ファクシミリ
8	59	4	デジタル伝送、新サービス（ビデオテックス、ISDN）デジタル交換
9	60	2	光ファイバー通信システム、デジタルマイクロ通信
10	61	2	LANサービス、衛星通信
11	62	2	デジタル交換（ISDN含む）、データ通信

(3) カウンターパート (C / P) の受入れ

最近 3 カ年の C / P の受入実績は以下のとおり。

1985年 データ通信 Mr. Wiwat Kiranon

1986年 な し

1987年 な し

3. 評価活動の実績

3.1 各種評価の結果とその内容

毎年コースの終了時に研修員に対しアンケート調査を実施している。87年度終了コースのアンケート調査の詳細は付属資料4のとおり。

3.2 計画変更等へのフィードバックとその内容

研修員に対するアンケート調査の結果を受けて、それまで全期間全員同一研修内容であったものを第6回目よりコースの途中の3週間を有線コースと無線コースの2つに分け、研修員に選択させる方式を採用した。

4. 評 価

4.1 評価の実施目的

タイ国モンクット王工科大学ラカバン校（KMITL）における電気通信分野の第三国研修は本年（昭和63年）2月のコースをもって通算で11回を数えた。

KMITLは施設、機材、講師陣とも第三国研修を実施する上で相応の条件が整っており、また、対外窓口となるDTECの円滑な運用にもあずかり、これまで順調な研修が行なわれて来ている。

コースは韓国、シンガポール等のNICSからも研修員が参加していること、実施機関としてのKMITLはタイ国内のこの分野で唯一の大学であること等の実績から、研修内容については十分に評価し得るものである。

日本からは毎回2～3名の専門家講師を派遣し、最新技術、トピックス等の特別講義または実習を数日間実施するのみであり、第三国研修の主旨である開発途上国間技術協力に対する側面的支援という意味で典型的な例といえる。

このような状況の中にあつて、研修が目標を達成したか、開発途上国のニーズに合致しているか、今後とも継続実施することを前提に、改善すべき点はないか等の判断資料を得るための評価を行なう。

4.2 評価方法

KMITLの関係者と調査団メンバー合同により次の資料をもとに評価を行なった。

(1) クエッションネア

付属資料2に示すクエッションネアを本件研修コース終了者全員に送付し、記入後返送されたもの。（ただし、返送を得たのは残念ながら少数であった）

(2) コースレポートおよびアンケート集計表

研修コース終了後、コースの実施実績等をもとに、研修実施機関（KMITL）がまとめたコース・レポートおよび研修終了時に研修員が提出したコース評価アンケートの集計表。

(3) KMITLの関係者の意見

実施機関としてのKMITLの関係者の意見の集約。

4.3 研修効果（目標達成度）

アンケートに対する研修員の回答内容から見て研修そのものの目標は十分に達成されていると考えられる。

研修終了後の職務上に十分に成果が生かされていない場合も散見されるが、これは研修員の責

任ではなく所属組織の要員人事の問題である。

ただし、研修実施面では対応策があり得るならば当然検討の対象にしたいところであり、この点について実施機関（KMITL）幹部は帰国研修員の追跡調査のため近隣国を巡回できる予算措置を希望している。

4.4 研修計画

(1) 事前のコース案内

ほぼ全研修員が事前のコース案内は十分であるとしているが、例外的に研修目的を全く知らずに参加したという研修員もいる。これはその研修員の所属組織における連絡不備と思われる。

(2) 期間、時期

コースごとに多少の差はあるものの、研修員の80%前後が8週間の研修期間についてよいとしている。また、アンケートの別の設問ではデジタル通信に特化した場合でも4～5週間は欲しいとの結果が出ている。

時期についても特別なコメントは出されていないし、実施機関の他のスケジュール、実施国の祝日等の関連もあり、期間、時期ともに現行を妥当とする。

(3) カリキュラム

① 研修範囲

研修員それぞれにとって研修範囲が妥当またはそれ以上と評価するものは70%に達しており、研修員の事前知識の不備を考慮すれば範囲の選定は極めて適正である。

② 研修レベル、速度

研修レベル、速度を妥当とするものが大多数を占めているので変える必要はないが、易し過ぎるとするもの、難し過ぎるとするものもないわけではない。

研修員の国情、経歴、年齢などに差があり、止むを得ない。

③ カリキュラム配置

アンケートの集約では実習時間、討議時間をもっと増やして欲しいとの意見が出されている。これは全研修期間、設備数量にも関連するので、徐々に改善を進めて行く努力が求められる。

座学の時間配置、見学の規模等については大多数がよいとしている。

アンケートに見る今後のカリキュラムへの希望としては、概論的なものや在来設備関係の講義に代えて、デジタル通信関係、通信網管理のコンピュータ化などが出されている。

(4) 割当国

割当国21か国については特に問題はない。

DTECとの協議において、タイ側としては、割当対象国を拡大し、アフリカの一部の国を

も対象としたい旨の発言があったが、調査団よりケニアにおいてこの分野の第三国研修が既に実施されているため、アフリカを対象とすることは困難である旨説明し、タイ側も了承した。

(5) 定員

26名（周辺国21名、タイ国5名以内）は内訳ともに妥当である。

(6) 応募資格

1984年度のアンケート集計の中に最低年齢を30歳にしたらどうかとの意見がある以外に現行応募資格についての特別な意見はなく、実施機関によるコメントでも現行でよいとしている。

研修員の一部に年齢制限を越えているものもあったが、これは応募国の事情によるものであろうから特に問題はない。（応募資格については付属資料3参照）

4.5 研修実施機関

(1) 研修指導能力

① 講師

日本での研修経験もあり、第三国研修の目的、主旨に深い認識をもつKMITLのスタッフが講義の約半分を、残りをタイ国内の通信運営組織等からの講師が担当しており、また、日本からの長期専門家も加わっていることから、十分な陣容といえる。

② 教材

現在、特に問題はないが、技術革新に沿っての改訂および新科目についての教材の作成整備は常に必要と思われる。この点は実施機関のみでは限界があろうから日本側の手立てが重要となる。

③ 評価方法（テスト等）

研修講師により、研修中に随時行なわれており適切である。

(2) 研修運営管理能力

① 受入手続き

受け入れはスムーズに処理されており、トラブルはなく良好である。

② 運営管理

全ての研修員がコース管理に満足しており、問題はない。

DTECとの協議においてタイ側よりタイ国の在外公館のない国へのGI送付等を日本側でお願いしたい旨の要望が出されたが、調査団より、主体はあくまでタイ側であるので日本側が送付するのは困難である旨説明し、他のタイ国における第三国研修と同様JICAタイ事務所がサイドインフォメーションとして当該国のJICA事務所にGIの写等を送付することでタイ側も了承した。

③ 生活環境

宿泊地（バンコック市内のホテル）とKMITLが少し遠いとの苦情が一部にあるが、近いところはホテルの料金の面からコストアップになるといわれている。冷房付のバスでの送迎を行なっているので、大きな問題にはならないと考えられるが、改善が可能なら対処する方がよい。

また、宗教上の理由から、昼食の献立に苦情が出されることがあるが、研修員の構成がコースごとに変わることから、近隣諸国から人を迎える実施機関の献立担当者が毎年、頭を悩ます問題であろう。その他の生活環境に問題点は見当たらない。

5. 総 合 評 価

(タイにおける第三国研修「電気通信技術」についての評価と提言)

1. タイにおける第三国研修「電気通信技術」が実施されているモンクット王工科大学ラカバン・キャンパス(KMITL)は、1960年に、我が国のプロジェクト・センター協力によりノンタブリ電気通信訓練センターとして発足し、その後、無償資金協力により建物が建設された。これらの協力の成果を一層活用すべく、1977年より第三国研修「電気通信技術」を実施し、タイ及びタイの周辺諸国からの参加研修員に講義及び実習等を通じて電気通信分野において必要な知識・技術等を習得させることを目的とする総合的な研修を行っており、1987年度に11回目の第三国研修を実施した。本第三国研修の研修員受入れ総数は、22か国(アジア地域：17か国、太平洋地域：5か国)から186名であり、そのうちタイからは29名を受け入れた。
2. 我が国の技術協力に対するタイ国の評価は、本第三国研修を含めて極めて高く、特にKMITLに対する我が国の協力実績は、タイに対する技術協力の成功例としてシンボリック的存在になっているといえる。
3. タイ経済技術協力局(DTEC)は、第三国研修の実施についてはタイが実施している開発途上国間技術協力(1988年3月現在38か国)の促進、また、タイと近隣諸国との友好・協力関係の強化が図られる等の見地から極めて有益であるとして、本第三国研修の継続実施を強く希望している。
4. KMITLは、第三国研修を行うことにより、①タイ国における唯一の電気通信訓練施設としての実態を国民にPRできること、②第三国研修の実施に際し、タイ通信公社(CAT)、タイ電話公社(TOT)、政府関係機関、民間機関等に対して講師の派遣、施設見学等についての協力依頼を行うことにより、これらの機関との間に組織的、かつ、人的なつながりができ、KMITLの学生の就職に有利になること、③我が国から派遣する専門家の携行するテキスト・研修機材等により、KMITL自身のカリキュラムの改善が図られること、④近隣諸国からの研修員を通じ、電気通信分野におけるタイの技術レベルが高められること、⑤タイの文化、経済、社会、歴史等の紹介ができ、参加国との友好協力関係が促進される、等の理由により、本第三国研修の継続実施を強く希望している。
5. KMITLは、第三国研修「電気通信技術」の11回の実績を踏まえて、新たに「コンピュータ技術」についての第三国研修を開設(実施時期は9月～10月)したいとして、これに対する

我が国の協力を強く希望している。

KMITLに対する我が国の協力実績は、我が国の技術協力の成功例として内外に広く紹介されており、我が国の最先端技術であるコンピュータ技術についての第三国研修コースを新たに実施することは、これまでの我が国の協力の一層の活用を図るためにも、また、タイ国及び周辺諸国に対する我が国の技術協力についてのデモンストレーション効果を高める見地からも有益であると思われる。

6. KMITLは、第三国研修の講師の半数に同校のスタッフを当て、他の半数についてはTOT、CAT等の部外関係機関から講師を招へいし、さらに、特別講義として我が国から専門家2名の派遣を得て第三国研修を実施している。

第三国研修に係る募集要項、カリキュラムの作成から教材の作成、講義等すべて自主的に実施されており、本第三国研修は良好に運営されている。

しかし、近年、電気通信分野における技術革新は著しいので、第三国研修の講師、KMITLのスタッフ等を我が国に招へいしてレベルアップを図り、第三国研修の質的向上を図ることが望まれる。

また、本研修の実施に係るタイの関係者をカウンターパートとして我が国に招へいし、我が国の関係者との意見交換、関連施設の視察等を行うことにより、本第三国研修に対する認識の増進を図るとともに、よき理解者を増やしていくことも肝要と思われる。

7. KMITLは、第三国研修を11回実施し、186名の研修員を受け入れたとの実績を踏まえ、これら研修員に対するフォローアップの一環として、本第三国研修に参加した帰国研修員の所属機関及び関係機関を訪問し、現地での技術指導を行うとともに、タイで実施した研修の成果を測定し、また、当該国の技術的問題点及びニーズを把握することにより、今後の第三国研修の向上・改善に役立てることを目的とする「第三国研修帰国研修員フォローアップチーム」の派遣を行いたいとして、これに対する我が国の協力を強く希望している。

本チームを派遣することは、今後の本第三国研修の一層の充実及びKMITLを始めとするタイ国関係者の一層の自主性を高めるとの見地から極めて有意義であると思われるところ、我が国関係者の積極的な対応が望まれる。

8. 本第三国研修の実施に係る経費については、研修員の渡航費及び滞在費については日本側とタイ側が半額ずつ負担し、その他経費（部外講師謝金、会議費、研修旅行費、研修機材費、テキスト作成費、印刷費、運営諸雑費等）については、毎年、両国で協議の上それぞれの負担額を決定することとしており、必ずしも両国の負担額が明確にはなっていない。しかし、我が国が技術協

力の一環として実施する第三国研修は、研修実施引受国（タイ国）が主体的に研修を実施し、これに係る経費を日本が負担する形式により実施することを原則としているところ、これについては、より効果的な研修の実施を実現するためにタイ側の意向を十分に考慮し、積極的に対応することが肝要と思われる。

9. タイ政府は、本第三国研修の特別講義のために我が国から派遣される専門家の派遣期間について、実際の講義日数は各人2～3日間程度であるが、事前準備に1週間、講義及び質疑応答に1週間、地方研修旅行（質疑応答を含む）に1週間、特別講話・セミナー・評価等に1週間の計4週間程度の派遣期間を希望している。

第三国研修派遣専門家の主目的は、最先端技術に関しての講義を行うことであるが、タイ側は、単なる講義に終始することなく、この機会に、当該専門家の専門分野について、参加研修員がかかえている技術的な問題点等についての技術指導を、また、地方研修旅行の際における現場での技術指導、意見交換等を通じて、タイの電気通信事情についての理解を深めるとともに、本第三国研修の質的向上を図ってほしいとの強い希望を有しているところ、これについては両国の相互理解を深める上でも有益であると思われるので、我が国としては可能な限りタイ側の要望に沿えるよう積極的に対応することが肝要と思われる。

10. KMITLが保有する研修機材については、我が国が供与した機材もあったが、質及び量とも乏しく、また、殆どの機材が旧式なものであったところ、KMITLから、最新の技術を効果的に研修するためにはこれらの機材に更改されるべきであるとして、我が国に対して最新機材の供与について強い要請があった。

これらの研修機材は、第三国研修を魅力あるものとするために不可欠のものであり、また、第三国研修以外にKMITLの学生の訓練用機材としても活用できる等の有効活用が期待できることから、派遣専門家の携行機材としての供与を含め、関係者の積極的な対応が望まれる。

11. KMITLには宿泊施設がないため、研修参加研修員はバンコク市内の民間ホテルに宿泊しているが、バンコク市内の交通事情が悪いため、余儀なくかなりの長時間（朝は1時間、夕方は2時間近く）を通学のために費やしている現状にある。

そのため、KMITLスタッフ及び研修員から、「宿泊手当を増額してKMITLに近いホテルに宿泊できるようにされたい」「KMITLキャンパス内に宿泊施設を建設されたい（宿泊施設の建設については日本の協力を得たい）」等この問題の改善・解決を求める要望が出されている。

この問題の早期解決に向けての、関係者の積極的な対応が望まれる。

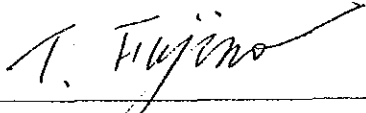
附 属 資 料

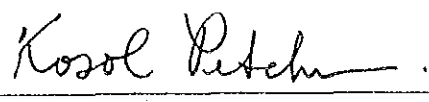
1. MINUTES OF MEETINGS
2. 帰国研修員に送付したクエッションネア（回答例）
3. 1987年度GENERAL INFORMATION
4. 1987年度コース終了時のアンケート調査結果

MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN THE JAPANESE EVALUATION TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED
OF THE GOVERNMENT OF THE KINGDOM OF THAILAND
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

1. The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Toshiyuki FUJINO visited Thailand from March 28 to April 2, 1988 for the purpose of evaluating the training course in the field of telecommunications technology under the Third Country Training Programme of JICA.
2. During its stay in Thailand, the Team had a series of meetings with the authorities concerned of the Thai Government with respect to the progress, achievement and future plan of the above-mentioned training course, and the outline is summarised in the summary report attached as APPENDIX II
3. As a result of the meetings, both sides shared the view that the course is greatly contributing to the development of telecommunications technology in the Asian, Pacific and other countries, and worked out the draft of the Record of Discussions attached as APPENDIX III which should be completed in order to ensure the successful implementation of the course.
4. A list of attendants at the meetings is attached as APPENDIX I.

Bangkok, April 1, 1988


Mr. Toshiyuki FUJINO
Head of the Japanese Evaluation
Team
Japan International Cooperation
Agency


Dr. Kosol Petchsuwan
Rector
King Mongkut's Institute of
Technology Ladkrabang

APPENDIX I

LIST OF ATTENDANTS

Department of Technical and Economic Cooperation

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. Mr. Tawal Polpuech | Director
External Cooperation Div. I. |
| 2. Miss Chantana Indragarjita | Chief
Thai-Aid Sub-Div. |
| 3. Mrs. Pranee Sombudsiri | Stuff
Thai-Aid Sub-Div. |

King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. Dr. Kosol Petchsuwan | Rector |
| 2. Mr. Manoon Sukkasem | Assistant Rector
for Academic Affairs |
| 3. Mr. Apinan Manyanon | Head of Telecommunication Dept. |
| 4. Mr. Narong Hemmakorn | Instructor |
| 5. Mr. Thawil Kingtong | Associate Dean
for Internal Affairs |
| 6. Mr. Masayasu Komoto | JICA Expert |

JICA Evaluation Team

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. Mr. Toshiyuki Fujino | Head |
| 2. Mr. Masayasu Mugishima | Member |
| 3. Mr. Haruaki Iino | Member |
| 4. Mr. Tsuneyuki Yamauchi | Member |
| 5. Mr. Kazuyuki Yatsuda | Member |

JICA Thailand Office

- | | |
|--------------------|-----------------------------------|
| 1. Miss Chisa Hara | Assistant Resident Representative |
|--------------------|-----------------------------------|

SUMMARY REPORT

I. Background

1. As the Telecommunications is a one of the indispensable infrastructures for the social development, its expansion and innovation have been carried out in many countries including developing countries.

The Government of Thailand, in collaboration with the Government of Japan, initiated the Group Training Course in the field of Telecommunications Technology at King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (hereinafter referred to as "KMITL") under the Third Country Training Programme of JICA Started in 1977.

2. The Course has been conducted for the past eleven years since its inception upon once-a-year basis by the Thai Government and supported by the Japanese Government under its technical cooperation scheme.
3. The purpose of the Course is to provide participants with comprehensive theoretical and practical training in telecommunications technology so that participants will be able to acquire sufficient knowledge in this field.
4. For the first three weeks General Knowledge for Telecommunications are lectured.
From the fourth to sixth weeks are spent for Cable and Radio communication dividing participants into two groups.
A week before the last is for special lecture by Experts from Japan.
Final week is for study tour.

II. Number of participants accepted

During the eleven courses one hundred and eighty six(186) participants have been accepted. Among them twenty nine(29) were participants from Thailand.

The number of the neighbouring countries from which participants have joined the Course is twenty one(21). Among them sixteen (16) are Asian and five(5) are Pacific countries.

(Detail is attached as Annex I)

III. The assessment of the achievement by the participants at the end of the course

Questionnaires for the course were filled up at the end of each course. The results of the categorywise analysis of the questionnaires submitted by the participants attended the courses in the recent years is as follows:

a) Pre-course information

Most of participants satisfied with pre-course information.

b) Training period

Eighty(80) percent of participants accepted eight(8) weeks duration.

c) Contents expectation

All participants satisfied with contents of the course.

d) Curriculum design

Most of participants satisfied with the curriculum design.

e) Level of the training

All participants accepted the level of the training.

f) Course management

All participants satisfied with the course management.

IV. Support of the Japanese Government

Under the eleven courses, the Japanese Government has made available twenty three(23) experts' services, acceptance of four(4) Thai counter-part personnels for training in Japan, and provision of equipment.

KNITL evaluated that above mentioned supports were sufficient for the implementation of the course.

(Detail is attached as ANNEX II)

V. Administrati on and management of the Course

1. Teaching staff

Half of lecturers is KMITL staff, the other is from Telephone Organi-
zation of Thailand, Communication Authority of Thailand etc..

2. Qualifications of participants

All participants cover the qualifications mentioned in G.I..

3. Training circumstances

Rooms, facilities and equipments for presentation are appropriate, but
equipments for practical training, textbooks and other teaching
materials are not sufficient.

4. Procedure of application and nomination

DTEC, KMITL and JICA Thailand have done well for procedure of appli-
cation and nomination.

5. Accommodation or other living condition for participants

Most of participants satisfied with accommodation and living con-
dition but a few of them claimed that the hotel is a little bit far
from KMITL.

VI. Conclusion

As a result of discussions, both sides shared the view that the course
is contributing to the development of telecommunications technology in
the Asian, Pacific and other countries, and worked out the draft of the
Record of Discussions attached as APPENDIX III which should be complet-
ed in order to ensure the successful implementation of the course.

NUMBER OF PARTICIPANTS ACCEPTED

Japanese Fiscal year Invited countries	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	Total
Afghanistan	2	2										4
Bangladesh		1		4				1		1	1	8
Bhutan				1		1	1			2		5
Burma								3	1			4
Burnei					1	1	1	2	2	1		8
China				2	2	3		2			2	11
Indonesia	2	2	1	2		3			4	2	1	17
Korea					1	1		1			2	5
Malaysia	2					2		1	3	2	1	11
Maldives			1					1	1	1	1	5
Nepal	1	1	2	2			2		1	1	1	11
Pakistan					1	1	2	1	1			6
The Philippines	3	2	2	2	1	1		2	1	1	1	16
Singapore	2		1	1	1						1	6
Sri Lanka	2	2	1	3		1	2	1	2	2	2	18
Iran	2		1		1		2	2				8
Fiji						1		1		1	1	4
Papua New Guinea					2		2					4
Solomon Islands											2	2
Vanuatu										2		2
Western Samoa											2	2
(Sub Total)	16	10	9	17	10	15	12	18	16	16	18	157
Thailand	0	0	0	2	3	3	4	4	4	5	4	29
Total	16	10	9	19	13	18	16	22	20	21	22	186

SUPPORT OF THE JAPANESE GOVERNMENT

1. Dispatch of Experts

Fiscal year	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	Total
Number of Experts	-	1	2	3	3	2	2	4	2	2	2	23

2. Acceptance of Participants in Japan

Fiscal year	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	Total
Number of Experts	-	-	-	2	-	-	1	-	1	-	-	4

3. Provision of Equipment

- 1) Hybrid phone
- 2) Micro OSI Board
- 3) RAM Board for PC-9801
- 4) NEAX 22SA
- 5) Marine Radar, Loran, RDF
- 6) Optical Fiber Laboratory Sets
- 7) FAX
- 8) Howdy Mail
- 9) Comexcel

RECORD OF DISCUSSIONS
 BETWEEN THE RESIDENT REPRESENTATIVE OF JICA THAILAND OFFICE
 AND THE AUTHORITIES CONCERNED
 OF THE GOVERNMENT OF THE KINGDOM OF THAILAND
 ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME
 (D R A F T)

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Toshiyuki FUJINO visited the Kingdom of Thailand from March 28 to April 2, 1988 for the purpose of evaluating the training course in the field of telecommunications technology under the Third Country Training Programme of JICA which has been carried out since the Japanese fiscal year of 1977.

Based on the Minutes of Meetings signed between the Team and King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang on April 1, 1988, Mr. Tsutomu Saito, Resident Representative of JICA Thailand Office, had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Kingdom of Thailand with respect to the future implementation of the Course.

As a result of the discussions, both sides agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Bangkok, _____ 1988

Mr. Tsutomu SAITO
 Resident Representative of
 JICA Thailand Office

Mr. Wanchai Sirirattana
 Director-General
 Department of Technical and Economic
 Cooperation

Witnessed by: Dr. Kosol Petchsuwan
 Rector, King Mongkut's Institute
 of Technology Ladkrabang

ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the Kingdom of Thailand will cooperate with each other in organizing the training course in the field of telecommunications technology at the King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (hereinafter referred to as "the Course") under the Third Country Training Programme of JICA.

The Course will be operated in accordance with the following:

1. TITLE

The Course will be entitled "Group Training Course in Telecommunications Technology".

2. PURPOSE

The purpose of the Course is to provide participants with comprehensive theoretical and practical training in telecommunications technology so that participants will be able to acquire sufficient knowledge in this field.

3. OBJECTIVES

At the end of the Course, the participants are expected :

- 1) to have general knowledge of basic telecommunications technology: telegraphy, telephony, cable communication, radio communication, microwaves, television broadcasting, navigational aid, digital switching, optical communication, satellite communication, etc.,
- 2) to understand basic concepts of telecommunications technology,
- 3) to understand the latest telecommunications technology,
- 4) to understand the general telecommunications technology in Thailand.

4. DURATION

Each Course will be held for approximately nine (9) weeks duration.

5. CURRICULUM

The tentative curriculum of each Course will be mutually determined and agreed each year.

6. INVITED COUNTRIES

The Governments of the following countries will be invited to apply for the Course by nominating their applicant(s):

Bangladesh, Bhutan, Burma, Burnei, China, Fiji, Indonesia, Iran, Korea, Malaysia, Maldives, Mauritius, Nepal, Pakistan, Papua New Guinea, The Phillipines, Singapore, Solomon Islands, Sri Lanka, Western Samoa, and Vanuatu.

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants from the invited countries shall not exceed twenty one (21) in total, and the number of participants from Thailand shall not exceed five(5).

8. QUALIFICATIONS FOR APPLICANTS

Applicants for the Course are:

- 8-1. to be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure mentioned in 10-1 below,
- 8-2. to have completed, at least, the associated degree or diploma in science or engineering or equivalent,
- 8-3. to have sufficient command of spoken and written English,
- 8-4. to be under forty(40) years of age,
- 8-5. to have appropriate physical fitness (pregnancy is regarded as disqualifying condition for participation in the Course),
- 8-6. to have at least three(3) years working experience in telecommunications field.

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

The Course will be conducted by:

Faculty of Engineering

King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (hereinafter referred to as "KMITL")

10. PROCEDURE OF APPLICATION

- 10-1. The Government applying for the Course shall forward five(5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of the Kingdom of Thailand through its diplomatic channels not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.
- 10-2. The Government of the Kingdom of Thailand will inform the applying Governments whether or not the applicant(s) is/are accepted for the Course not later than thirty (30) days before the commencement of the Course.

11. UNDERTAKING OF BOTH GOVERNMENTS

In organizing and implementing the Course, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country:

11-1. The Government of the Kingdom of Thailand

11-1-1 Department of Technical and Economic Cooperation (hereinafter referred to as "DTEC")

- (1) To forward the General Information brochures (G.I.) of the Course to the Governments of the invited countries through its diplomatic channels,
- (2) To receive application forms and forward them to KMITL,
- (3) To notify the results of selection of participants to the respective Governments through its diplomatic channels and to the JICA Thailand Office (hereinafter referred to as "the JICA Office"),
- (4) To arrange accommodations for participants,
- (5) To arrange international air tickets for overseas participants and to meet and see them off at the airport,
- (6) To bear the following expenses for the Course:
 - a. Fifty(50) percent of the expenses incurred of international economy-class flight fare, accommodation, per-diem for the participants from outside of the Kingdom of Thailand,
 - b. Other expenses necessary for conducting the Course excluding the expenses financed by the Government of Japan,
- (7) To submit a statement of expenditures to the JICA Office.

11-1-2 KMITL

- (1) To formulate the curriculum of the Course,
- (2) To draft and print the G.I.,
- (3) To assign an adequate number of its staff as lecturers/instructors for the Course,
- (4) To provide its training facilities and equipment for the Course,
- (5) To select participants for the Course, and to inform the result of the selection to DTEC,
- (6) To arrange domestic study tour(s) to be included in the Course,
- (7) To issue certificate to the participant who has successfully completed the Course,
- (8) To submit a course report to the JICA Office,
- (9) To coordinate any matter related to the Course.

11-2. The Government of Japan

- (1) To dispatch short-term experts, by following the regular procedures of its technical cooperation scheme, who will give advice to KMITL and deliver lectures on such subjects as mentioned in Annex I,
- (2) To bear the following expenses for the Course through JICA,
 - a). Fifty(50) percent of the expenses incurred of international economy-class flight fare, accommodation, per-diem for the participants from outside of the Kingdom of Thailand,
 - b). Medical insurance premiums,
 - c). A part of such expenses relevant to the Course as honoraria for external lecturers, arrangement of meeting and study tour(s), teaching aids, expendable supplies, copies and reprints, and secretarial services. The ratio of the share will be mutually determined and agreed each year.

12. PROCEDURE OF EXPENDITURE

The expenditure of the funds for the expenses to be borne by JICA will be arranged in accordance with the following procedures:

- 12-1. DTEC will submit to JICA Office a bill of estimate for expenses to be borne by the Government of Japan not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.
 - 12-2. JICA will assess the estimated bill and provide the assessed amount of expenses for DTEC within thirty(30) days after the receipt of the bill of estimate. (Payment of assessed amount will be done after the number of participants is informed)
 - 12-3. DTEC will submit to the JICA Office a statement of expenditures within thirty(30) days after termination of the Course.
 - 12-4. In case any amount of the fund provided by JICA remains unspent, DTEC will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the instructions given by JICA. The fund allocated for the flight fare, accommodation and per-diem shall not be appropriated for any other purposes
 - 12-5. By the request of JICA, DTEC will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidence necessary to certify the expenditures stated in 11-1-1(7) above.
13. This Attached Document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be integral parts of the Record of Discussions.

ANNEX I : TENTATIVE SUBJECTS ON WHICH JAPANESE EXPERTS WILL GIVE LECTURES
ANNEX II : SCHEDULE OF COURSE OPERATION

TENTATIVE SUBJECTS
ON WHICH JAPANESE EXPERTS WILL GIVE LECTURES

Japanese Fiscal Year	Subjects
1988	1. Optical fiber communication 2. Data communication
1989	1. Digital switching 2. Digital microwave
1990	1. ISDN technology 2. International telecommunications
1991	1. ISDN technology 2. International telecommunications
1992	1. ISDN technology 2. International telecommunications

SCHEDULE OF COURSE OPERATION
(TENTATIVE)

Before or after the commencement of the course	THAI SIDE	JAPANESE SIDE
	<ul style="list-style-type: none"> - Preparation of G.I. - Submission of Forms A-1 - Distribution of G.I. and Application Form 	Recruitment of Experts
60 days	<ul style="list-style-type: none"> - Submission of Bill of Estimate - Receipt of Application Forms 	
30 days	<ul style="list-style-type: none"> - Notification of the selected participants 	
20 days		- Payment of Expenses
	Implementation of Course	- Dispatch of Experts
30 days	<ul style="list-style-type: none"> - Submission of Statement of Expenditures - Submission of Course Report 	

QUESTIONNAIRE

To ex-participants in the Third Country Training Programme in the field of Telecommunications at King Mongkut's Institute of Technology. Please fill in the following items and reply to the questions. In order to evaluate the achievement of the course, your frank opinions and suggestions are highly appreciated. (Please write in block letters or typewrite.)

I. PERSONAL DATA

- (1) Name (Please underline your surname)

CHEN, ZHUOJUN

- (2) Date of Birth

Sept. 7, 1943

- (3) Home Address

34 Yan Dong Yuan, Beijing University, Beijing, PRC

- (4) Year of Participation: 1980~1981

II. EDUCATIONAL DATA

- (1) Education/Training before attending the Third County Training

Name of the Education/Training Institute	Location of the Institution	Years from-to	Certificate/Diploma/Degree obtained -and- Major Discipline
Tsing Hua University	Beijing	1960-1965	Diploma (Six-year System) Electrical Engineering

(2) Education/Training after attending the Third Country Training

Name of the Education/Training Institute	Location of the Institution	Years from-to	Certificate/Diploma/Degree obtained and Major Discipline
Northwestern University	Evanston, U.S.A.	1982 - 1984	Electrical Engineering & Computer Science (one year) Radio, TV & Film (one year) Visiting Scholar

III. Employment/Work Experience

(1) Your present organization, position, and official address

Computer Center, Ministry of Radio, Film & TV, P.R.C.
P.O. Box 2116, Beijing, P.R.C.
Senior Engineer, Head of Research Group

(2) Chart of the above-mentioned organization with an indication of your section in it

Computer Center

(3) Your duties or responsibilities in the present service

A. Editor of the Thesaurus^{used} for Computer Aided Retrieval System of News (Information)

B. Computer Aided Animation System

(4) Nature of the present job.

(Indicate by an (x) mark in the corresponding box)

Activities	Full (90%)	Major (75%)	Partly (50%)	Slightly (25%)
Administration				
Supervision				
Design of Equipment				
Handling of Equipment				
Maintenance of Equipment				
Research	X			
Others, specified				

(5) Employment record since the year of your participation

Duration of Service	Position (or Assignment)	Organization
1981-1982	Engineer	Broadcasting Science Research Institute, Ministry of Radio & TV
1985-1988	Engineer, Senior Engineer	Computer Center, Ministry of RFT

IV. EVALUATION OF THE THIRD COUNTRY TRAINING COURSE

(1) What was/were your previous expectation(s) of the Training Course?

I expected to learn new technology in the field of Telecommunication.

(2) To what extent did the Training Programme correspond to your previous expectation(s)?

Completely Highly Somewhat Hardly Not at all

Please explain your answer briefly:

In 1980, we just began to implement an open policy, but not much. So I was glad to have the opportunity to attend this Training Course. I have visited many central center and facilities equipped most advanced equipment and instruments at that time.

(3) To what extent would you ~~could~~ apply the knowledge/skills, etc. acquired during the training course in your present job?

All Most Some A little None

Please explain your answer briefly:

Because the technology is developed very rapidly. It has spent seven years from the Training Course I attended.

(4) How are you making use of the knowledge, techniques and experiences you acquired in the course?

- Lectures in the school or training center
- Training courses and seminars
- Making reports and writing articles in technical literature
- Informing personally to the staff
- On-the-job training
- Others ()

(5) What kind of benefit have you obtained from the Training Course?

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> Work conditions | <input type="checkbox"/> In obtaining another (better) job |
| <input type="checkbox"/> Responsibility | <input type="checkbox"/> Contents of work |
| <input checked="" type="checkbox"/> Prospects for the future | <input type="checkbox"/> Professional recognition |
| <input type="checkbox"/> Salary-wise | <input checked="" type="checkbox"/> International contacts |

Please explain your answer briefly:

That was the first time I went abroad. The course enlarged my eyesight and improved my English proficiency.

(6) Is there any suggestion how to improve the effect/efficiency of the Training Course?

I think the program arranged for the course was very good. It introduced the up-to-date technology to the trainee. The contents ranged very widely, but the time is limited. So I suggest the trainee's background be over certain level and the course provide more chance for discussion and practice. I would like to give some lectures if you need some help. Please Thank you very much for your cooperation. let me know.

**GROUP TRAINING COURSE
IN
TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY**

JANUARY 11 — MARCH 7, 1988

The Group Training Course in Telecommunication Technology with special emphasis on digital communication will be conducted jointly by the Royal Thai Government and the Government of Japan as part of its Technical Cooperation Programme.

The course arrangements are made by the Department of Technical and Economic Cooperation (DTEC) and the Japan International Cooperation Agency (JICA) in collaboration with the King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (KMITL) and other related organizations in Thailand.

PURPOSE

The purpose of this course is to provide participants with comprehensive theoretical and practical training in telecommunication technology so that participants will be able to acquire sufficient knowledge in this field.

QUALIFICATIONS

Applicants should :

- (1) be nominated by their governments in line with Procedures for Application ;

- (2) have completed, at least, the associated degree or diploma in science or engineering or equivalent ;
- (3) have sufficient command of spoken and written English ;
- (4) be under forty (40) years of age ;
- (5) have appropriate physical fitness ;
- (6) have at least three years working experience in telecommunication field.
- (7) pregnancy is regarded as disqualifying condition for participation in the course.

DURATION

8 (eight) weeks from January 11 — March 7, 1988.

LANGUAGE

The course will be conducted in English.

INSTITUTION

The course will be conducted by :

Faculty of Engineering
King Mongkut's Institute of Technology — Ladkrabang
Bangkok 10520, Thailand.
TELEX : 84967 INSMONG TH, FAX : 3267333

PROCEDURES FOR APPLICATION

- (1) A government desiring to nominate an applicant for the course should fill in and forward three (3) copies of the Nomination Form for each applicant to the Government of Thailand through the Royal Thai Embassy or Consular Representative in their

countries or send directly to the Thai Aid Programme, Department of Technical and Economic Cooperation, 962 Krung Kasem Road, Bangkok 10100, THAILAND, not later than November 11, 1987. For the convenience in accommodation arrangement, it is recommended to nominate in even number.

(2) the Royal Thai Government will inform the applying governments whether the nominees are acceptable in the course not later than December 7, 1987.

ALLOWANCE AND EXPENSES

The following allowance and expenses will be borne by the Royal Thai Government and the Government of Japan :

- (1) Economy class round trip air ticket to and from the international airport designated by DTEC and Bangkok will be issued to the approved candidate. One way air ticket will be sent to the applicant in advance by the representative of the Thai International Airline in the participant's country. A return air ticket will be issued to each participant prior to the course completion. **THOSE WHO BUY THE AIR TICKETS BY THEMSELVES SHOULD TAKE THEIR OWN FULL RESPONSIBILITY, THE EXPENSE OF WHICH COULD NOT BE REIMBURSED FROM THE COURSE MANAGEMENT.**

- (2) Living allowance at the rate of B 600 per day (equivalent to approximately US \$ 23) will be paid to the participant when arriving Bangkok. This living allowance is to cover board and lodging, local transportation and other personal daily expenses. The participant is to pay for the hotel at the rate

of B 280 : per day. The remaining allowance of B 320 : is for food and other expenses. However, each participant is suggested to have a pocket money for a few day expenses prior to the allowance payment.

- (3) In accordance with relevant regulation. Free medical treatment will be provided for participant who becomes ill during his/her stay in Thailand.
- (4) Transportation for observation tour outside Bangkok will be provided by the Royal Thai Government for authorized study tours in Thailand.

FACILITIES PROVIDED

The following facilities will be provided by the Royal Thai Government through the Department of Technical and Economic Cooperation :-

- (1) Arrangements for the training programme ;
- (2) Tax clearance including the arrangements for the extension of the permit to stay in Thailand.
- (3) Orientations (Briefing upon arrival) ;
- (4) Accommodation reservation.

CERTIFICATE

Participants who have successfully completed the course will have the right to receive a certificate awarded by JICA/DTEC/KMITL.

OTHER INFORMATION

- (1) Participants are required to arrive in Thailand on the date as designated by the DTEC after its con-

firmation of acceptance. However, it will be finally confirmed through the airticket sent to the participants. (See also Allowance & Expenses item 1)

- (2) Participants should assume responsibility for other expenses incurred during travel between the participants' home countries and Thailand.
- (3) Participants shall make their own arrangements for any financial matters of private nature not provided for by the DTEC.
- (4) Upon arrival at Bangkok International Airport, participants will be met by a representative of the DTEC. If not, each participant must take an AIR-PORT JOINING BUS (Not a Taxi/Limousine) at the airport to the reserved hotel as mentioned in the Acceptance Form. The payment for this service could be reimbursed afterwards PARTICIPANTS WHO DO NOT FOLLOW THIS SUGGESTION SHOULD TAKE THEIR OWN RESPONSIBILITY. Necessary care of the participants, thereafter, will be taken by DTEC and KMITL throughout the course duration.
- (5) Participants are required to observe strictly on the course schedule.
- (6) Application to change or alter the training subject or to extend the training period will not be accepted.
- (7) Participants are requested not to bring any member of their families. The living allowance paid by the Royal Thai Government and the Government of Japan is sufficient only to cover normal living expenses for one person. No allowance of any kind will be paid for their dependants.
- (8) For administrative arrangements, participants are

requested to bring four (4) copies of their photograph attached to their Application Forms.

- (9) The Royal Thai Government and the Government of Japan will not be indemnified or liable for accident disability and loss of life resulting from participation in the programme.

- (10) Further relevant information is available at the following address :-

Thai Aid Sub-Division
Department of Technical and Economic
Cooperation (DTEC)
962 Krung Kasem Road, Bangkok 10100
THAILAND

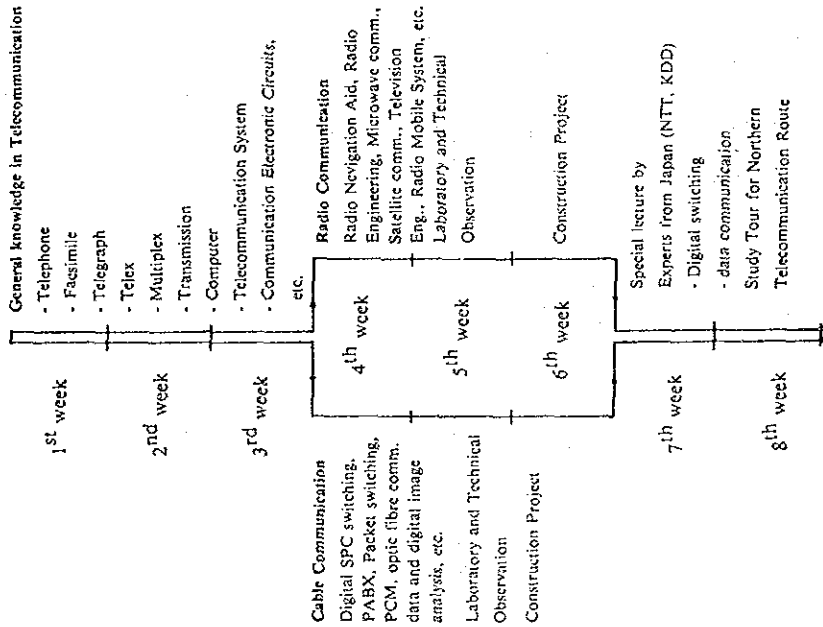
Tel. (02) 2810552, 2821188

Cable address "DEPTECO THAILAND"

- (11) Prior to arrival to Thailand, all participants must first obtain the appropriate visas from the Royal Thai Embassy or Consular Representative in their countries.

- (12) Participants are requested to inform the DTEC about the date and flight number of arrival.

TENTATIVE PROGRAMME



NOTICE : At the beginning of the fourth week participants will be divided into two groups, first group for cable communication and the second group for radio communication as indicated above.

QUESTIONNAIRE

FOR

FINAL COURSE EVALUATION

I. OBJECTIVES

II. CURRICULUM DESIGN

III. COURSE CONDUCT

IV. ADMINISTRATION AND MANAGEMENT

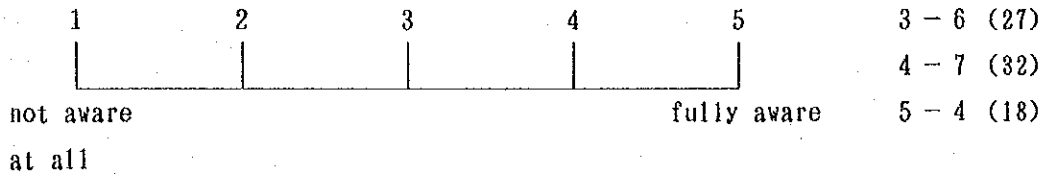
V. TRAINING OUTCOMES

JANUARY 11 - MARCH 7, 1988

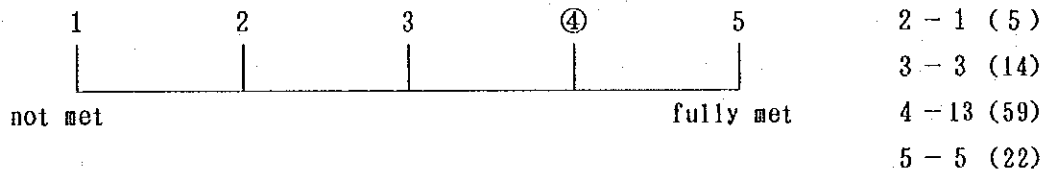
I. OBJECTIVES

(1) To what extent were you aware of the objectives of this training program before you came to Thailand (%)

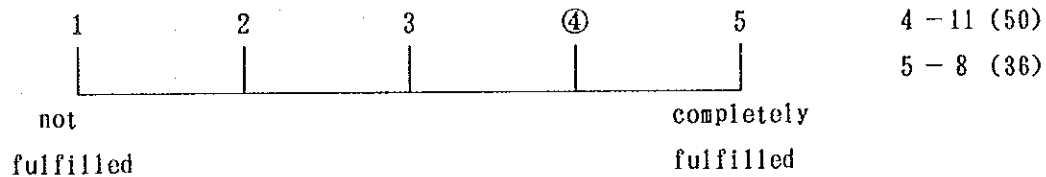
Please circle the appropriate rating number.



(2) Please indicate whether the main objectives of the Course were



(3) In your opinion to what extent was your expectation of this Course fulfilled?



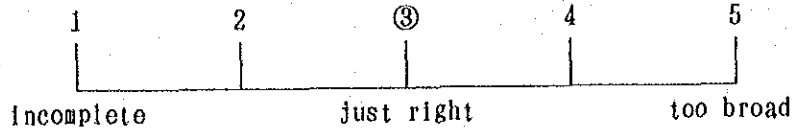
For the participants who marked degree 1 or 2 of the above items on OBJECTIVES from (1) TO (2):

We would like you to give us some comments.

II. CURRICULUM DESIGN

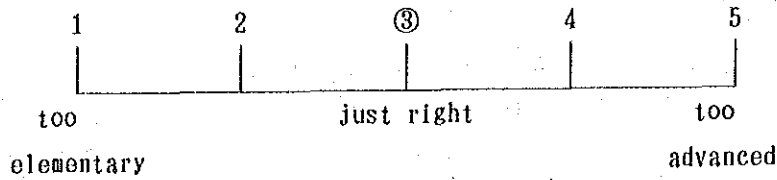
(1) Coverage, Level, Time Allocation, Intensity and Duration:

a) Coverage of the subjects



2 - 4 (18)
3 - 11 (50)
4 - 7 (32)

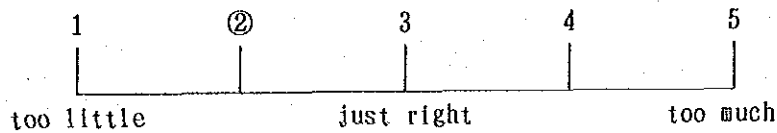
b) Level



2 - 2 (9)
3 - 15 (68)
4 - 3 (13)

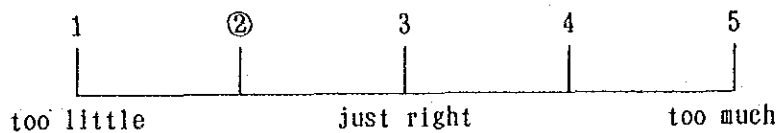
c) Time allocation to:

Lectures



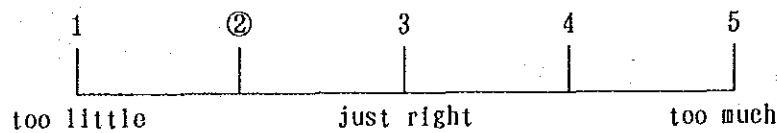
1 - 1 (5)
2 - 7 (33)
3 - 11 (52)
4 - 2 (10)

Discussions



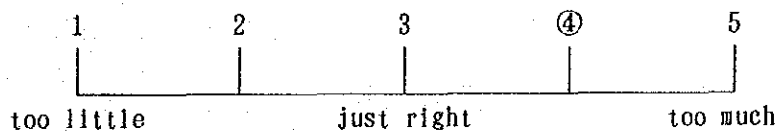
2 - 4 (19)
3 - 15 (71)
4 - 2 (10)

Exercises



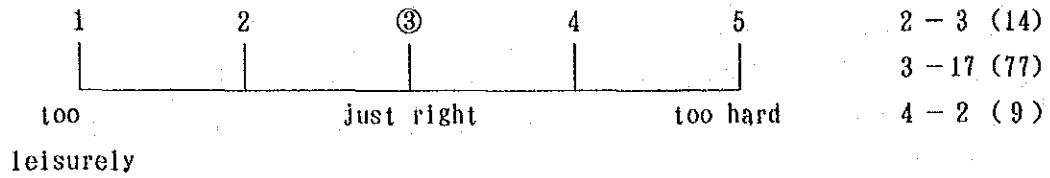
2 - 3 (13)
3 - 16 (72)
4 - 2 (10)
5 - 1 (5)

Observations

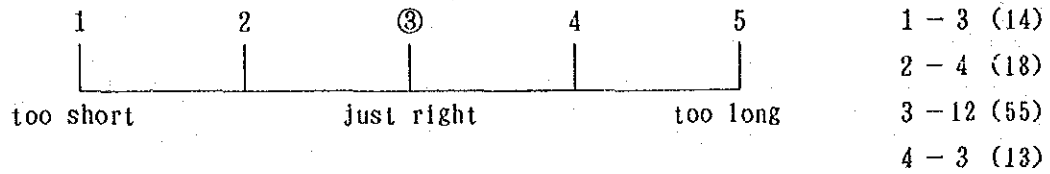


3 - 12 (55)
4 - 9 (40)
5 - 1 (5)

d) Intensity



e) Duration

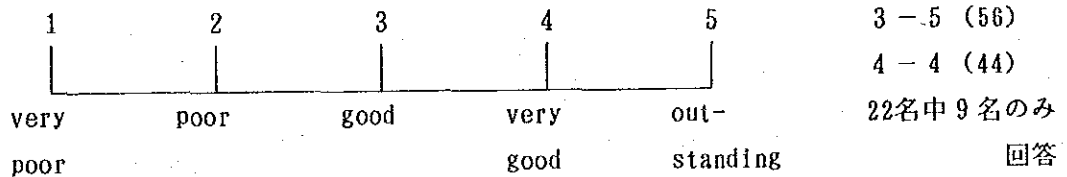


III. COURSE CONDUCT

(1) TEACHING METHOD

Evaluate the teaching method and application to your works of each topic or subject matter by the scale below. Please fill the checklist on next page with the number that approximate your opinion.

Scale (teaching method)

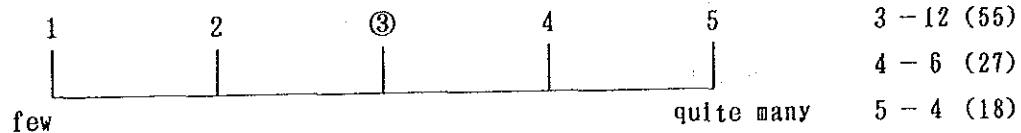


(application)



(2) Application of techniques and knowledge

Do you think that you will have chance to make good use of the techniques and knowledge you have attained in this Course in your country?



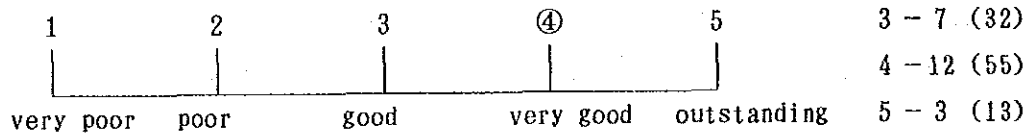
For the participants who marked degree 1 or 2 of the above items
on TRAINING OUTCOMES

Please give us some comments.

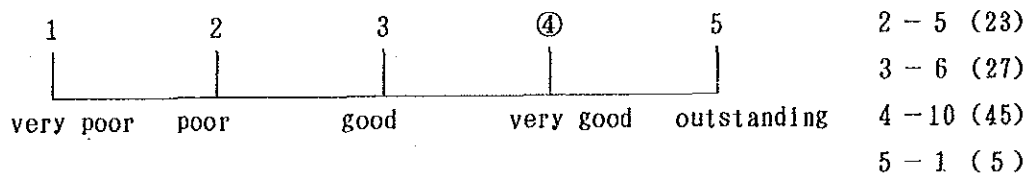
ADMINISTRATION AND MANAGEMENT

How would you describe the general administration and management of
the Course?

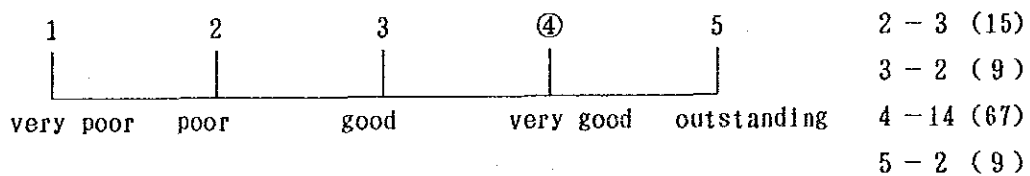
a) Coordination for course conduct



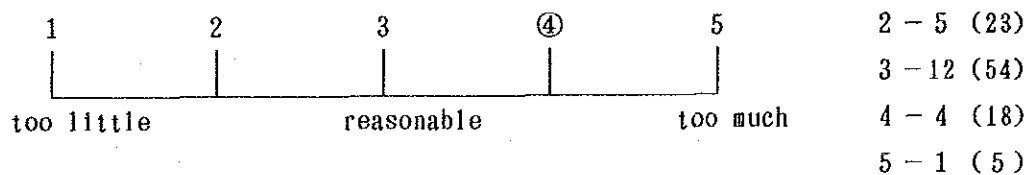
b) Pre-course information (G.I., Briefing and Orientation)



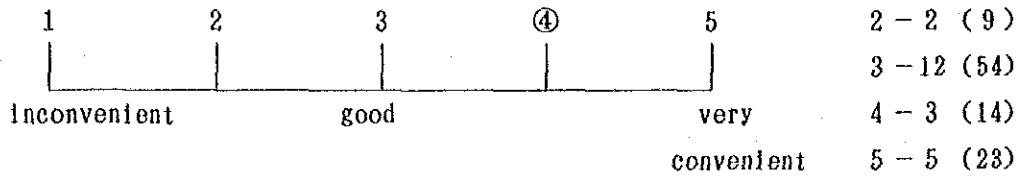
c) Housing and food accommodations



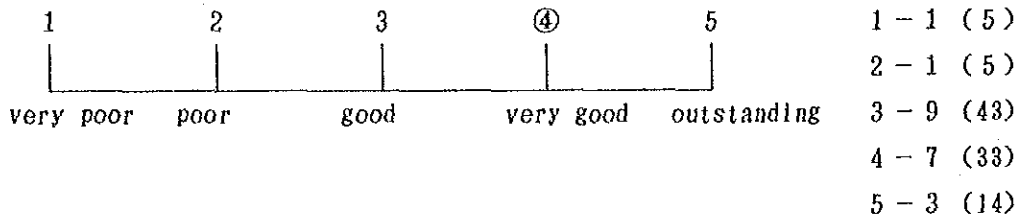
d) Allowance



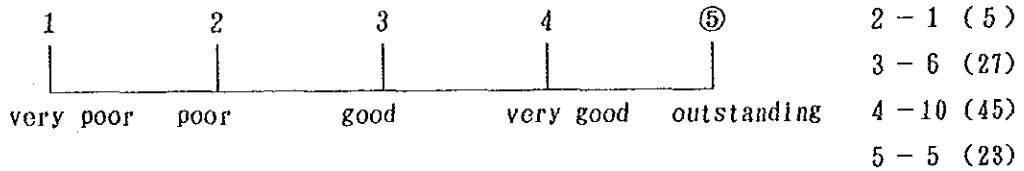
e) Transportation



f) Social program

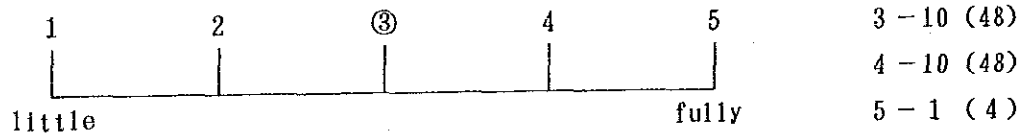


g) Communication among the Participants



TRAINING OUTCOMES

1) Attainment of technique and knowledge



JICA

5